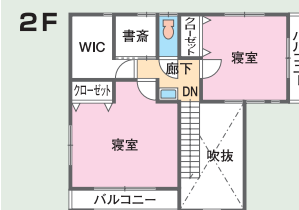


「文字風の三州瓦葺きの大屋根が、マツの化粧垂木などと美しく調和し、雅な外観を見せる。室内は無垢の名木をふんだんに使い、ほのかな木の香りが漂う。骨太の大黒柱と梁が重厚な造りをうかがわせる。」



- 施工：田村建設
- 設計：田村一級建築士事務所
- 建築面積：113.24㎡ (34.25坪)
- 延床面積：154.62㎡ (46.76坪)
- 工法：木造軸組工法

選び抜かれた天然木と、職人技を生かした和の家



専務取締役 一級建築士
田村 知幸

青森のヒバ・秋田のスギ・木曽や吉野のヒノキなど、日本有数の産地から集めた天然木を素材に、昔ながらの職人技でつくる和風住宅。1976年の創業以来、田村建設が貫く家づくりの魅力はここにある。

木の目利きを自負する田村幸一社長は、全国を訪ねて良材を選び、3カ所の自社倉庫に寝かせて自然乾燥。加工も自社工場、熟練の大工職人が墨付けから刻み、鉋かけまで手作業で行っている。

在来の木造軸組工法を基本に、設計から材料の手配・加工・現場管理・アフターメンテナンスまで、一貫して行えるのが同社の強み。これを支えるのは社長のご子息で、設計・管理を手掛ける長男の知幸専務、大工の棟梁として現場で家づくりに携わる次男の武

久常務と三男の直也取締役の3兄弟。

「コミュニケーションを密に、それぞれの責任をしっかりと果たすことが、良い家づくりにつながります」と知幸専務。職人気質の実直な仕事ぶりが評価されて、地域の工務店として信頼が高まっている。

年配者は本格的な和風、若い世代は和モダンの家を注文することが多い。仕上がったばかりの家を訪ねれば、磨き抜かれた木組みの技と適材適所に配置された素材の素晴らしさが、手に取るように分かる。

家の中に一歩入れば、無垢の木のほのかな香りが心地よい。床や天井・階段などあらゆる所に、木目の美しいヒノキやスギ・カラマツなどが惜しげなく使われている。リビングの中央に据えられた8寸角のヒノキの

大黒柱や幅30センチの大きな梁が、重厚な造りを物語っている。漆喰や珪藻土の壁は、自然素材へのこだわりをうかがわせる。

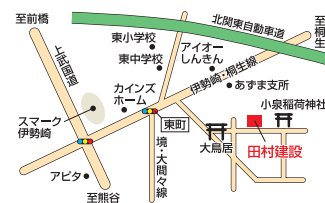
「一本一本の木の特性を知り、最大限生かす工夫をしています」と知幸専務。木のぬくもりを楽しみ、外のさわやかな風や自然光などに親しめる暮らしを考えて設計をしている。

できるだけ機械に頼らず、手間ひまかけて打ち込む仕事ぶりは、現代の“効率優先”の風潮とは無縁。「和風の家ならぜひ任せてほしい」と3人とも話す。



当社の得意分野

- 純和風
- 自然素材
- リフォーム
- デザイン
- 職人技
- 化粧垂木



株式会社 田村建設

建設業許可群馬県知事(般-21)第12049号 一級建築士事務所 群馬県知事登録1520号
伊勢崎市小泉町450-4 TEL.0270-63-3333 FAX.0270-63-2288
URL <http://tamura-kensetsu.com/> E-mail info@tamura-kensetsu.com